

今回はJ-SHINE 資格取得後わずか1年で指導力判定を受け、上級指導者資格を取得。
京都府亀岡市で英語サポーターとして日々の授業を支えながら、子どもたちの指導に邁進されている秋宗さんの実践報告です。

J-SHINE 通信

2014年7月号



秋宗希久子 さん

J-SHINE 小学校英語上級指導者
京都府亀岡市英語活動サポーター

■ J-SHINE 資格及び上級指導者資格取得のきっかけ

JTE として小学校とかかわるようになったきっかけは新聞の市長のインタビュー欄で、「2009年度より市内小学校英語活動サポーターを採用します」との内容を偶然目にしたことです。その後タイミングよく教育委員会の面接があり、採用され、その年の5月より市内6校の5、6年生を年18時間教えることになりました。早いもので、今年で6年目になります。

アルク主催の J-SHINE の通信講座を勉強し、J-SHINE 指導者資格を取得したのはその2年前です。当時3歳だった娘の英語の絵本を読んでいるうちに、児童英語の楽しさを再認識し、もっと深く知りたいと思ったのと、現在の小学校の英語はどんなことを勉強しているのだろう、と思ったのがきっかけで通信講座を受講しました。

その2年後に次のステップとして上級者指導者資格を取ろうと思ったのですが、上級指導者資格は通常小学校英語指導者資格取得後4年以上が経過しており、小学校の総活動時間数が200時間を超えて、さらに小学校長もしくは教育委員会からの推薦書が必要となります。ですがその時、私の場合、J-SHINE 小学校指導者資格を取得してわずか1年しか経っていませんでした。一方、学校での総指導数は1年目ですすでに400時間が経っており、幸い校長先生の推薦書をいただくことが出来ましたので、指導力判定を受け、上級指導者資格を取得しました。これは J-SHINE 小学校指導者資格を現在お持ちの方で、小学校で教えられておられる方には朗報であろうと思います。学校の授業で、上級指導者指導力判定が生かされたことは言うまでもなく、第二言語習得の勉強にも大変役立ちました。

私自身、英語を教えている年数はそれほど長くはありませんが、社会人になってからは職種は異なるものの英語に携わった仕事を続けてきました。その経験をすべて授業に生かせることができ、とても幸せです。ですが、教えるという仕事は誰からも自分の欠点を指摘されることがないので、自分を客観的に誰かに批評していただく機会があればなあと思っていました。その時に上級指導者資格を受験し、数名の審査員の先生方やトレーナーの方々からのいろいろなアドバイスをいただいたことが、大変参考になりました。

■ 現在の活動状況

複数の小学校で5、6年生を教えています。学校によりそれぞれ方針が異なりますので、できる限り内容に添えるよう努めています。通常、担任の先生と TT で授業に入りますが、英語が得意な先生の場合は私が T2 となり、そうでない場合は私が T1 となり、指導させていただいています。小中連携の学校では、中学校の英語の先生や私、そして ALT の3名で授業を共にしたこともあります。夏休みには教員研修もさせていただき、私自身も多くの素晴らしい先生方と巡り合い、たくさんのことを学ばせていただきました。

ある学校では亀岡市内在住のアメリカ人留学生を授業に招き、彼女にアメリカの文化の話をしてもらったり、時差の授業では、実際に海外にいる人と SKYPE を使用し授業をしたこともあります。

また学校によっては、ALT と担任の先生方との橋渡しの役割りをさせていただくこともあります。子ども達が卒業して街で久しぶりに会い、「先生のおかげで英語が好きになり、英語の勉強、がんばってます！」と言われた時は、この仕事をしていたよかった、と改めて思います。

授業は“Hi Friends!”だけでなく、海外に行った経験を生かしていろいろな国の話を子ども達にしたり、異なった文化、習慣、行事などを授業に取り入れたり、オリジナルのものも心がけています。

■ 今後の展望・課題・メッセージ

現在、J-SHINE 指導者資格をお持ちのみなさん、ぜひ次のステップとして上級指導者資格に挑戦してみてください。きっと自分の自信にもつながりますし、自分の教え方に対しストレートな意見を多く聞くことのできる貴重な機会だと思います。私も今後の国の小学校英語の行方が気になる一人です。今できることは、現場の子ども達に正しい英語を楽しく伝えて行くという地道な努力だと思っています。一人でも多く子どもが英語に興味を持ってくれることを願っています。

